

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	健康ライフ コース	学年	1 年
講義日	令和 6 年 4 月 15 日(月)		
テーマ	くらしの中の福祉～「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせにする「ふくし」～		
講師	関西国際大学教育学部教育福祉学科 尾崎慶太		
講義内容			
<p>1.ねらい</p> <p>現代社会は、複雑で複合的な生活課題が多発している。このような社会の中、地域共生社会の実現、そして人々が幸せに暮らしていくために社会福祉が担うべき役割とは何かを理解することを目標とする。</p> <p>2.主な内容</p> <p>(1)社会福祉の歴史</p> <p>日本および諸外国の社会福祉の歴史を概観しながら、社会福祉の理念/対象/方法について理解する</p> <p>(2)社会福祉の対象及び方法</p> <p>現代的な社会福祉問題を取り上げ、問題となっている事象の確認とその背景について理解する。</p> <p>(3)社会福祉と地域共生社会</p> <p>地域共生社会の実現に向けて、これからの社会福祉が担う役割について考える。</p>			
講師からのメッセージ			
<p>災害、感染症、紛争など、世界規模で多発する危機的問題は、私たちの暮らしに影響を与え続けています。同時に、私たちがこれからどのように生きていくのかが問われていると思います。社会福祉は、一人ひとりの暮らしを支えるという基本理念に成り立っています。ともに支え合う、地域共生社会の実現のために、社会福祉に期待されていることを学んでください。</p>			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	健康ライフコース	対象学年	1年
講義日	令和6年 5月13日(月)午前・午後		
テーマ	内科の病気(生活習慣病を中心に)、健康診断結果表の見方		
講 師	(公財)兵庫県予防医学協会・副会長、東京医科歯科大学名誉教授 健康ライフプラザ健診センター長 平田 結喜緒		
講義内容	<p>1. ねらい</p> <p>現在わが国では急速な高齢化の進展にともない、がんや生活習慣病の発症の割合が増加しています。その結果、生活習慣病による脳卒中や心臓病の死亡原因が全体の約 6 割を占め、また医療費の約 3 分の 1 を占めています。したがって生活習慣病の発症や重症化の予防は喫緊の課題といえます。</p> <p>2. 主な内容</p> <p>メタボリック症候群とは、生活習慣病(肥満、糖尿病、高血圧、脂質異常症、動脈硬化など)について、予防と対策</p>		
講師からのメッセージ	<p>私たちが生涯にわたり良好な生活の質を維持するためには、生活習慣病やその予備軍であるメタボリック症候群を正しく知り、その発症や重症化を予防することが大切です。</p>		

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	健康ライフ コース	対象学年	1 年
講義日	令和 6 年 6 月 24 日(月) 午前		
テーマ	夏の過ごし方(熱中症)		
講 師	流通科学大学 人間社会学部 人間健康学科 関 和俊		
講義内容			
<p>1. ねらい</p> <p>これまでの「夏の過ごし方」を振り返るとともに、屋内・屋外における「夏の過ごし方」を学び、考え、健康ライフに活かす。</p> <p>2. 主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) これまでの「夏の過ごし方」を振り返る</li><li>(2) 夏の気温・湿度・WBGT</li><li>(3) 加齢(・運動不足)と体温調節機能</li><li>(4) 熱中症とは</li><li>(5) 熱中症予防・対策 (暑熱順化、水分補給 など)</li><li>(6) 熱中症時の応急処置</li><li>(7) まとめ</li></ol>			
講師からのメッセージ			
<p>湿度の高い6月から熱中症の危険性は高まっています。また、高齢者の多くの方は屋内で熱中症を発症しています。熱中症予防・対策を知り、生活に活かし、「夏」を楽しく安全に、どう乗り切るかを一緒に考えましょう。</p>			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）

コース 専攻	健康ライフ コース	学年	1年
講義日	2024年7月1日（月） 午前：10時30分～12時（90分） 午後：13時～14時30分（90分）		
テーマ	「聴覚障がいの理解と手話」		
講師	NPO 法人神戸ろうあ協会手話派遣センター 藤本 由記（ろう講師） 幸泉 正子（聞こえる講師）		
<p>講義内容</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「聴覚障害」の基礎知識を学び、聴覚障害者への理解を深める。</li> <li>・聴覚障害者が、社会で自立した生活を送るための支援方法等について理解する。</li> </ul> <p>II. カリキュラム</p> <p>はじめに 講義の進め方と約束</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 聴覚障害の基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験談</li> <li>・聞こえの仕組み</li> <li>・聴覚障害者のコミュニケーション方法</li> </ul> </li> <li>2. 手話言語 <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話言語と音声日本語の違い</li> </ul> </li> <li>3. 聞こえないということ <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報障害とコミュニケーション障害</li> </ul> </li> <li>4. 手話を覚えよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつと簡単な日常会話</li> </ul> </li> <li>5. 障害に応じた支援方法について</li> </ol> <p>おわりに 質疑応答</p> <p>アンケート記入及び回収</p>			
講師からのメッセージ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害者や手話言語とは何かを理解していただき、多様性理解と共生社会のために私たちが地域で何が出来るのかを共に考えていただく機会になれば嬉しい</li> </ul>			